日医総研報告書第59号

医療産業分析「医療産業の経営実態 - 2002年度決算から - 」正誤表

15頁 図1-2-2-2の経営利益の単位

(誤) 経常利益(%)

金額(億円) (正)

19頁 図1-2-3-1の凡例

(誤) 調剤

調剤薬局売上高 (**TF**)

34頁 図1-5-9の製薬メーカー大手15社の増収指数

(誤) 105.5 (iF) 101.6

70頁 売上高販売費及び一般管理費率の推移

(誤)

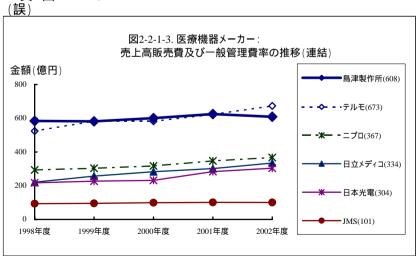
売上高販売費及び一般管理費は、島津製作所とテルモが高位で推移し ている。

島津製作所は、これまで大手6社中最も売上高販売費及び一般管理費 が高かったが、2002年度は売上高の増加によりテルモを下回った。

テルモは、従業員数や研究開発費の増加で、売上高販売費及び一般管 理費率を上昇させた。

JMSは、売上高販売費及び一般管理費率が最も低く、2001年度から 2002年度にかけて減少した。従業員は増加しているが、人件費は2001年 度から2.5%減少しており、コストダウンを図っている。

71頁 図2-2-1-3



(正)

売上高販売費及び一般管理費率は、日本光電、テルモが高位で推移して いる。

日本光電は、大手6社中最も売上高販売費及び一般管理費率が高く、 2002年度はさらに他を引き離した。増加しているのは人件費やその他の管 理費であり、研究開発費は減少傾向にある。

高位安定のテルモは、従業員数や研究開発費が増加し、売上高販売費及 び一般管理費率も微増した。

島津製作所は、増収であり、かつ販売費及び一般管理費を抑えたため、 2002年度は売上高販売費及び一般管理費率が改善した。

(正)

